

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精度管理学1		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	第1学年		学期及び曜時限	後期	教室名	1校舎901 902
担 当 教 員	渡邊 清司	実務経験とその関連資格	国立病院機構本部では臨床検査専門職として全国の機構病院の検査室を指導していた。現在、大阪府済生会富田林病院にて臨床検査技師長として勤務。主業務は臨床検査部門のマネジメント。			
《授業科目における学習内容》						
信頼される臨床検査部門を構築していくための考え方や方法・技術を学ぶことを通じて、単に臨床検査を実施するのみならず、マネジメント能力を養うことで将来のビジョンを描ける臨床検査技師をめざす。						
《成績評価の方法と基準》						
中間テストおよび学期末テストによる						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 臨床検査学講座 検査総合管理学 第2版 (教科書) 最新 臨床検査学講座 数学/統計(教科書)						
《授業外における学習方法》						
授業終了時に示す課題や演習を実施しておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
臨床検査の現場で遭遇する事柄を多く含むため、現時点では全体像を把握しにくいと思う。疑問点は遠慮なく質問してほしい。授業では毎回3つ程度に絞って重要事項を解説する。多くはこれからの社会生活にも応用できるので、自分の言葉で簡潔にまとめておくとよい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	検査検査の概念および特徴を理解できるようになる	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	臨床検査と臨床検査技師の役割、臨床検査の特徴			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査をとりまく環境について概要を理解できるようになる	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	臨床検査部門の組織形態、診療保険点数のしくみ、チーム医療			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査の特性を理解できるようになる	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	定性検査における感度・特異度・有病率と臨床検査の有用性			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理の基礎をなす統計学を理解できるようになる (1)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	平均・分散・標準偏差・変動係数、標準正規分布とその活用			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理の基礎をなす統計学を理解できるようになる (2)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	記述統計と推測統計、中心極限定理と平均値の区間推定、t分布			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理の基礎をなす統計学を理解できるようになる (3)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	統計学的検定の考え方と手順		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理の基礎をなす統計学を理解できるようになる (4)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	分散分析とF分布、独立性の検定とカイ2乗分布		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理の基礎をなす統計学を理解できるようになる (5)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	相関と相関係数、回帰分析と回帰式		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理の基礎をなす統計学を理解できるようになる (6)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	これまでの復習と演習		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	前半講義の概要について説明できるようになる	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	前半講義の復習とまとめ 重要事項の説明等		
第11回		授業を通じての到達目標	前半講義の内容について説明できるようになる	プリント	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	前半の評価試験(中間テスト)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査における分析水準の評価と結果解釈について理解できるようになる (1)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	トレーサビリティ連鎖、不確かさ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査における分析水準の評価と結果解釈について理解できるようになる (2)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	基準範囲と臨床判断値、生理的変動幅、パニック値、デルタチェック、項目間チェック		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査の試薬や装置の妥当性確認について理解できるようになる (1)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	精確さの評価、バラツキの評価、標準誤差、検出(定量)限界		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査の試薬や装置の妥当性確認について理解できるようになる (2)	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。
		各コマにおける授業予定	直線性、干渉物質の影響、混入試験、添加回収試験、水質の基準		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精度管理学1		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	第1学年		学期及び曜時限	後期	教室名	1校舎901 902
担 当 教 員	渡邊 清司	実務経験とその関連資格	国立病院機構本部では臨床検査専門職として全国の機構病院の検査室を指導していた。現在、大阪府済生会富田林病院にて臨床検査技師長として勤務。主業務は臨床検査部門のマネジメント。			
《授業科目における学習内容》						
信頼される臨床検査部門を構築していくための考え方や方法・技術を学ぶことを通じて、単に臨床検査を実施するのみならず、マネジメント能力を養うことで将来のビジョンを描ける臨床検査技師をめざす。						
《成績評価の方法と基準》						
中間テストおよび学期末テストによる						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
最新 臨床検査学講座 検査総合管理学 第2版 (教科書) 最新 臨床検査学講座 数学/統計(教科書)						
《授業外における学習方法》						
授業終了時に示す課題や演習を実施しておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
臨床検査の現場で遭遇する事柄を多く含むため、現時点では全体像を把握しにくいと思う。疑問点は遠慮なく質問してほしい。授業では毎回3つ程度に絞って重要事項を解説する。多くはこれからの社会生活にも応用できるので、自分の言葉で簡潔にまとめておくとよい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	精度管理の方法を理解できるようになる	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	シフトとトレンド、各種の管理図法、内部精度管理と外部精度管理、 シュハートの管理図			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査のプロセス管理について理解できるようになる	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	各プロセスの留意点、精度保証、標準作業手順書と各種の記録、 法的要求事項と国際規格(ISO 15189)、品質保証とPDCAサイクル			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床検査における医療安全を理解できるようになる	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	医療事故と医療過誤、ヒューマンエラーの要因と対策、 検査部門で起きたインシデント事例の検討			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	後半講義の概要について説明できるようになる	教科書および配布資料	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	後半講義の復習まとめ 重要事項の説明等、最終講義			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	後半講義の内容について説明できるようになる	プリント	事前に講義内容に該当する部分について教科書および配布資料に目を通しておく。授業後に再度目を通して内容を理解する。	
		各コマにおける授業予定	後半の評価試験(期末テスト)			